

## 諸般報告（平成23年6月議会）

議長のお許しを頂きましたので、町政の諸般についてご報告を申し上げます。

**3月11日**に発生した東日本大震災は、国内観測史上最大のマグニチュード9.0を記録しました。この地震により、津波が発生し、東北地方の太平洋沿岸部に壊滅的な被害をもたらし、過去に例を見ない大災害となりました。

**改めて**、亡くなられた方々に対し、深く哀悼の意を表するとともに、被災された皆さんが、一刻も早く通常の生活に戻ることができるようお願いしております。

**本町におきましても**、震災発生直後から、支援物資の提供や義援金の募集、あるいは職員の派遣など、被災地の支援に努めてまいりました。

なお、支援状況につきましては、ホームページなどでご報告をさせていただいております。

**町の職員派遣では**、現在も被災地で支援活動中ではありますが、5月30日には、町の社会福祉協議会から、現地のボランティアセンターの運営支援に社協職員の派遣をさせていただいております。

現地の状況も時々刻々と変化をしております。

このため、今後も引き続き、近隣自治体と協調を図りながら、

現地のニーズに対応した形で、できる限りの支援をさせていただくつもりであります。

**震災の発生は**、各方面にも大きな影響を及ぼしております。被災地とは離れた本町においても、食品の安全性の問題や経済活動など、今後の波及を懸念しているところであります。

**経済活動の面では**、部品調達の寸断や電力供給の低下などの制約が生じたことにより、生産活動全般に支障をきたすこととなりました。

**これは**、経済指標においても表れ始めております。内閣府が、先月19日に発表した平成23年1-3月期の国内総生産（GDP）の速報値によれば、物価変動の影響を除いた実質で、前期比0.9%減、年率換算で3.7%減と、2・四半期連続のマイナス成長となり、回復基調にあった景気の先行きは、予断を許さない状況にあると認識を致しております。

**さて、本町の状況であります。**

初めに、人口の動向であります。

平成23年4月1日現在の人口は4万2,517人で、前年の4万2,500人と比較して17人の増であります。

このうち外国人は、719人で前年比では、92人の減少となっております。日本人という観点からは109人の人口増となるかと思えます。

**また、世帯数は、**16,571世帯で、こちらも106世帯の増加となりました。

**次に、**平成22年度の各会計の決算見込みであります。

各会計とも、依然として厳しい財政状況を踏まえまして、経費の節減を図りつつ、効率的な行財政運営に努めさせていただきました。5月末をもって出納整理期間が終わり、現在、最終的な整理をしているところであります。

**決算の概要について、**ご報告を申し上げます。

まず、一般会計であります。

**決算見込額は、**歳入153億8千万円、歳出137億7千万円で、歳入歳出差引き額は16億1千万円ではありますが、翌年度へ繰り越す財源として、継続費及び繰越明許費の繰越額が5億4千万円ほどございますので、実質収支額は10億7千万円程度になる見込みであります。

**このうち、**7億円程度を財政調整基金へ積み立て、残りを平成23年度へ繰り越してまいりたいと考えております。

**次に、決算の主な内容であります。**

まず、歳入ではありますが、最終予算より8億1千万円程度の増を見込んでおります。

町税の収入総額は83億1千万円ほどで、前年度と比較して2億4千万円、率にして3.0%程度の増となる見込みであります。

**税目別に見ますと、**町民税は、個人所得の低迷により、

個人町民税が約 2 億 7 千万円の減となる一方、主要企業の業績回復により、法人町民税は、5 億 1 千万円ほどの増となる見込みであります。

**町民税全体**で約 2 億 3 千万円、率にして 7.0%の増の見込みであります。また、固定資産税については、前年度とほぼ同額の見込みであります。

**次に**、歳出であります。最終予算における不用額が 2 億 6 千万円程度となる見込みであります。これは、主に請負差金と経費の縮減によるものであります。

**以上のように**、好調な決算に見えますが、ここ数年間、財源不足分を基金の取り崩しと起債で賄っております。

**22年度においても**、財政調整基金で 8 億円、臨時財政対策債で 5 億円の合計 13 億円を財政上の本来の歳入以外で補填した結果であるということであります。

**この数年間**、歳入の不足分を基金の取り崩しと起債で賄ってきたため、財政基盤が脆弱になっていることが大きな課題であります。

さらに、23 年度においては、税収の落ち込みが予想され、持続可能な安定した財政運営に努めていく必要があるものと思っております。

**東日本大震災**の影響も含め、本町を取り巻く経済環境は、当分の間、不安定な状況が続くものと思われまますので、

今後も引き続き、実施事業を十分に精査し、健全財政の維持に努めてまいる所存であります。

**次は、各特別会計の決算見込みであります。**

まず、「**国民健康保険事業 特別会計**」であります。

**歳入は**、37億4,849万円、**歳出は**、35億9,634万円で、**差引き**1億5,215万円の翌年度繰越しとなる見込みであります。

**本年**4月1日現在の加入世帯数は、6,045世帯で、前年の6,027世帯と比較して、18世帯の増、被保険者数は、11,039人で、前年の11,038人と比較して、1人の増となっております。

**次に、「老人保健事業 特別会計」であります。**

歳入歳出ともに、53万円で、22年度をもって特別会計を閉じることとなっております。

**次に、「後期高齢者医療 特別会計」であります。**

歳入は、3億362万円、歳出は、3億271万円で、**差引き**91万円の翌年度繰越しとなる見込みであります。

**なお**、本年4月1日現在の被保険者数は3,578人で、前年の3,460人と比較して、118人の増となっております。

**次に、「介護保険事業 特別会計」であります。**

**決算見込み額は**、歳入19億1,103万円、歳出18億7,018万円で、**差引き**4,085万円となる見込みであります。前年度と

比較して、1億4,300万円、5.9%の増となる見込みであります。

**平成23年3月末**現在の要介護認定者数は、1,041人で、65歳以上の高齢者の方の要介護認定率は11.9%、うち75歳以上の後期高齢者の方の要介護認定率は24.7%で、4人に1人の方が認定を受けられている状況にあります。

**また**、平成23年4月1日の高齢化率は、19.7%となっております。本町は、比較的若い町であると言われておりますが、着実に高齢化が進んでおり、今後も、介護サービスに係る保険給付費の増加が予想されるところであります。

**本年度は**平成24年度から26年度の「第5期介護保険事業計画」の策定年であり、現在、準備を進めているところであります。

**これまでの実績**を基に、今後、3年間の介護サービスの必要量を推計し、事業規模、保険料等を見直して参ります。

**高齢者の皆さんが**、できるだけ住み慣れた地域や家庭において、安心して、生き生きと暮らすことができるよう、介護保険制度の円滑な運営と高齢者福祉の、一層の充実を図って参りたいと考えております。

**次に、農業集落排水事業特別会計であります。**

歳入、歳出とも6,143万円の見込みであります。

**また、下水道事業特別会計**におきましても、歳入、歳出同額で、21億2,184万円の見込みであります。

### **最後に、水道事業会計であります。**

収益的収支が、収入額 7 億 6,643 万円、支出額 7 億 5,696 万円で、差引きプラス 947 万円となりますが、資本的収支の消費税等を差引きしますと 381 万円の当年度純利益となる見込みであります。

**資本的収支は**、収入額 7,928 万円、支出額 1 億 4,135 万円で、差引 6,207 万円の不足となる見込みであります。

**この不足分は**、消費税及び「地方消費税 資本的 収支調整額」、並びに「損益勘定 留保資金」で補てんしてまいります。

### **続きまして、各所管の状況について、ご報告申し上げます。**

#### **始めに、総務部の関係であります。**

まず、「地域公共交通」であります。

昨年 7 月 27 日からコミュニティバスの試行運行を開始し、今年 3 月 31 日までにご乗車いただきました人数は、無料体験乗車の 2,846 人を含めまして 2 万 627 人でありました。

**今年 1 月から 4 月末までの**、一日平均乗車人数は、76 人となっております。

本年度は、市街化調整区域などコミュニティバスでカバーできていないエリアにつきまして、事前予約制タクシーをモデル的に実施すべく準備を進めております。

#### **次に、「ふるさと巡回点検事業」であります。**

**この事業は**、4年目を迎えますが、区長さん方に各地区の実情を点検、精査をして頂いた中で、地域の「実態点検要望」として町へ提出頂き、それをもとに私を始め、町の幹部が現地を訪れ、問題解決を図ろうとするものであります。

**本年度は**、9つの区からの要望があり、5月12日（木）～23日（月）にかけ、各区長さんを始め、地域の方々と一緒に現地確認をさせていただき、解決に向けた協議を行いました。

**要望の内容は**、多岐にわたり、本年度予算で対応できる事項もあれば、関係機関との調整や新たな予算措置が伴うなど、即応できない案件もありますが、極力、地区のご要望に応えられるよう努めているところであります。

**次は、消防関係であります。**

消防団活動といたしまして、来たる6月12日に中央公民館東広場で第33回消防操法大会が開催されます。

日頃の厳しい訓練の成果を披露して頂けるものと思います。

**次は、防犯関係であります。**

去る5月22日、「ゆめプラ」の響きホールにおいて、「町防犯協会」の総会を開催し、関係者約150名のご参加を頂き、本年度の防犯活動推進事業計画等を定めるとともに、各地区の防犯連絡責任者に対し委嘱状を交付させて頂きました。

**総会後の防犯研修では、**愛知県警の防犯活動専門チーム「のぞみ」の皆さんによる「振り込め詐欺 被害の防止」の寸劇が披露され、防犯について、啓発を行っていただきました。

**次は、厚生部の関係であります。**

始めに、本年1月より制度の拡充をいたしました「こども医療費」の助成についてであります。

**町単独助成部分であります、**小・中学生の通院医療費助成につきましても、1月分は、3,025件、助成額、約746万円、2月分は3,778件、助成額、約925万円でした。

**前年に比べ、**受診件数で1月分は、約1.3倍、2月分は約1.6倍と増えており、安全・安心な町づくりの一助になっているものと思っております。

**また、**健康関連事業の小児用肺炎球菌、ヒブの両ワクチンの接種であります。

4月からは、約1ヵ月ぶりに接種が再開されました。

**現在、**子宮頸がん予防ワクチンが供給不足の状況にありますが、夏頃までには、順次、ワクチンが供給される見通しであります。

**次に、**歯科衛生についてであります。

6月4日からの歯の衛生週間の行事として、6月5日の日曜日に、歯科医師会のご協力を頂き、歯科検診と「フッ素塗布」を実施させていただきます。

**次に、**高齢者が地域で安心して生活できるよう、総合的な相談支援を行っております「地域包括支援センター」についてであります。

**今年4月1日からは、**従来の武豊町から社会福祉協議会へ業務委託をいたしました。

**同協議会が**実施しております「地域福祉サービスセンター」、  
「ボランティアセンター」とも連携を密にし、介護予防、  
高齢者福祉の支援体制の強化が図られるものと考えております。

**次に、保育園の関係であります。**

5月1日現在の保育園の園児数は1,339人で、昨年同月と比べ、68人の減となっております。

**乳児の入所状況も、**昨年同月と比べ、6人の減となっております。また、あおぞら園の利用児童は、13人となっております。

**次に、「六貫山保育園 耐震改築工事」の進捗状況であります。**  
昨年3月26日に工事着手し、本年3月から新園舎での保育が始まっております。

**現在、**厨房棟の工事を施工中にあり、4月末現在の出来高は、  
建築工事 84.7%、電気設備工事 86.0%、機械設備工事 88.0%  
であります。今年の夏から利用させて頂く予定であります。

**次に、環境に関わる事業の状況であります。**

**まず、今年度の「緑のカーテンコンテスト」は、**  
5月19日現在、21件の申し込みを頂いております。

**また、「住宅用 高効率 給湯器 設置費補助」**は、11 件、  
「住宅用 太陽光発電 設置費補助」は 24 件の申し込みを頂いて  
おります。

**さらに環境啓発の面では**、去る 5 月 15 日に、小学生とその  
保護者合わせて 32 人の参加を得て、環境学習会を実施しました。

**「自然観察と動物園探訪」**と題し、大府市内のため池と  
東山動物園を訪れました。生物の多様性や種の保存の大切さ、  
自然環境の大切さ・尊さを学び、親子で共に考えて頂く、  
良い機会になったものと思っております。

**震災の影響もあり、この夏の電力不足が、心配されておしま  
す。**

住民一人ひとりの節電が大きな力となり、電力消費全体を  
抑え、環境対策に資するよう、各事業の展開を図り、今後とも  
「環境のまちづくり」を目指してまいりたいと思っております。

**次は、産業建設部の関係であります。**

まず、やすらぎの森墓園の二期工事であります。

墓園整備工事を 4 月に発注を行い、入札の結果、町内業者が  
落札をしました。

**平成 24 年 8 月**以降の使用開始を行うべく、  
2 m<sup>2</sup>タイプで 300 区画、3 m<sup>2</sup>タイプで 201 区画の整備を  
2 カ年に亘り順次、進めてまいります。

### **次に、公共下水道の整備状況であります。**

22年度末には、処理区域面積 637 h a となりまして、整備率では、計画区域の 652 h a に対し、97.6%になりました。

**今年度は、**梨子ノ木地区の 15 h a の面整備事業を予定し、今年度で市街化区域 652 h a のすべての面整備が完了する見込みであります。

**また、雨水整備事業としまして、**今年度より上ヶ排水区の中狭地区の雨水調整池の整備と前田地区の雨水幹線整備を進めてまいります。

### **次に農業関係であります。**

愛知用水の「夏期かんがい配水」が、試験通水を経たのち、5月1日から正式に配水が始まっております。

**町内4つの**地元管理区の管理によりまして、10月3日まで通水される予定であります。夏期かんがい期間中の安定した円滑な通水がされることを願うものであります。

### **次に、観光事業の関係であります。**

昨年5月18日に武豊町観光協会が発足されました。

その活動の一環として、「観光ガイドボランティア協会」の設立総会が5月29日に行われ、29名のボランティアの皆さんに登録を頂きました。

**ボランティア**の皆さんのご支援のもと、武豊町の数多くの魅力を再発見して頂き、広く発信して頂きますようお願いいたします。

**次は、教育委員会の関係であります。**

本年度の主要事業の一つの「はやぶさ帰還カプセルの展示」についてであります。

**過日**、宇宙航空研究開発機構（JAXA）からの連絡により、展示期間を8月4日（木）から8月7日（日）の4日間とすることが決定いたしました。展示の時間帯は、午前9時から午後9時までを予定しており、多くの方々にご覧頂きたいと考えております。

**また**、この展示に関連して「プロジェクトリーダー」であります「川口淳一郎」氏の特別講演会も予定しております。

**この講演会は当初**、7月25日に予定致しておりましたが、8月1日に変更になりましたことをご報告させていただきます。

武豊らしい独自の展示に向け、現在、実行委員会で詳細について検討頂いているところであります。

**次に、「湿地サミット」であります。**

愛知県の12市町村で構成しております「湿地サミット」が本年度は当町で開催されます。

**現在**、8月中の開催に向け、準備を進めているところであります。

**また、**毎年実施しております、壱町田湿地の一般公開につきましては、7月24日から9月4日のまでに5日間の公開を予定しております。

**次に、学校関係であります。**

5月1日現在の児童・生徒数は、前年に比べ、小学生が22人増の2,734人、中学生は47人増の1,357人で、合わせて、69人増の4,091人であります。

**次に、修学旅行の関係であります。**

5月15日の武豊中学校を皮切りに、全校が5月に修学旅行に出発し、児童・生徒ともに元気に帰ってまいりました。

**中学校につきましては、**行き先が東京方面であり、東日本大震災の影響を心配される声もありましたが、事故も無く全員、無事に戻ることができました。

**そして、**本年度で10回目となる中学生の海外派遣事業であります。富貴中学校長を団長として、2年生の12名を、8月18日から26日までの9日間、オーストラリアのケアンズ市へ、派遣する予定をしております。

**最後に、スポーツクラブの関係であります。**

スポーツの振興を通じた子どもの体力向上、成人のスポーツ実施率の向上を目的に設立されました「武豊町スポーツクラブ」も3年目に入りました。

**5月20日**現在の会員数は787名、前年比で、117名増加であります。現在、NPO法人設立に向け、6月26日に、総会の開催が予定されております。

**以上をもちまして、**町政の諸般報告とさせていただきます。